

防災WGの活動概要

平成21年11月20日(金)

1. 防災WGの概要

- 防災WGの体制

地理空間情報産学官連携協議会

全体会議

(平成20年10月16日設置)

地理空間情報に係る課題認識と情報の産学官の間での共有を図り、もって、地理空間情報の効果的な活用を推進する

共通的な基盤技術に関する
研究開発ワーキンググループ

〔平成20年10月16日設置〕

防災分野における地理空間情報の
利活用推進のための基盤整備
ワーキンググループ

〔平成20年10月16日設置〕

防災分野における地理空間情報の利活用推進のための基盤整備に向けて、技術動向等に関する情報共有を図るとともに、今後の取組みの方向性について意見交換を実施することを目的とする

G空間EXPOに関する
ワーキンググループ

〔平成21年6月23日設置〕

- 防災WGの体制

地理空間情報
産学官連携協議会

防災WG
〔防災分野における地理空間情報の
利活用推進のための基盤整備WG〕
内閣府主務

意見交換の主なテーマ
～ 「災害リスク情報等の規格化及び利活用推進」に向けて ～

ターゲットとすべき利活用方法
データの規格
データ管理のあり方等
規格策定のための組織体制のあり方 等

< WGにおける意見交換の結果を踏まえ >

～ 「災害リスク情報等の規格化
及び利活用推進」の具体化 ～
データの整備と利活用の促進に必要な
規格及び運用ルール等の整備

～ 将来の姿 ～
作成した規格等を活用したデータ整備、
応用サービスの展開



防災WGの主要テーマである「災害リスク情報等の規格化及び利活用推進」は、社会還元加速プロジェクト「きめ細かい災害情報を国民一人一人に届けるとともに災害対応に役立つ情報通信システムの構築」と関連して実施

社会還元加速
プロジェクト
タスクフォース
総合科学技術会議
(H19に発足)
イノベーション25
(H19.6閣議決定)

防災WGでは、必要
に応じてその他の
テーマも適宜実施

その他のテーマ
新たな利活用
最新の技術動向
……

新たな取組みへ
向けて発展

2. 防災WGの目的

- 「防災分野における地理空間情報の利活用推進のための基盤整備ワーキンググループ」では、主要テーマである「**災害リスク情報等の規格化及び利活用推進**」の実現に向け、主に以下について意見交換
 - 統合利用可能な災害リスク等の規格化
 - 災害リスク等を流通(利用促進)させるための基盤整備

その他、防災WGにて取り上げるテーマがあれば、適宜実施

3. 昨年度の防災WGの活動概要

< 利活用について >

- 第1回防災WG：災害リスク情報の利活用方法に関する提案を依頼
- 第2回防災WG：募集した利活用方法を基に、ターゲットとする利活用像と要件の素案を提示。
- 第3回防災WG：利活用像と要件(素案)に対して追加すべき要件を抽出することを目的として、さらに詳細な要件項目と、必須/オプションの区分を付した資料を提示。
今後、これらの利活用場面を参考に、災害リスク情報等の規格化やデータ流通基盤を検討予定。

< データ規格関係、災害リスク情報の規格化の本格的な進め方について >

- 第2回防災WG：データ規格検討に際しての基本的な考え方を提示。(既往又は策定中の関連規格類の整理結果、それら規格のマッピング図(案)(洪水関連)を提示)
- 第3回防災WG：平成21年度以降のデータ規格検討の進め方の案を提示
今後、「システム化部会」及び「データ標準化部会」を設置し、具体的な検討を実施。

第3回防災WG後(2009年3月19日)に「システム化部会」と「データ標準化部会」への参加希望を募った結果、今日現在、「システム化部会」に18名、「データ標準化部会」に18名(重複登録あり)、計26名のエントリーがあった。

< その他 >

- 防災WGの構成員から、防災WGに関連する話題提供を実施いただいた。
今後も必要に応じて、適宜情報共有や意見交換を実施。